

2024 年度「道路交通技術必携 2024」講習会のご案内

我が国において、より安全で円滑な道路交通の実現に向けた国民の期待は、益々高まりつつあります。

このたび、当研究会発行の「道路交通技術必携 2024」についての講習会を企画しました。本書は、ICT・AI 技術、交通ビッグデータ、自動運転技術などをベースとした著しい技術的な発展や、それに伴う道路交通の安全・円滑に資する対策の深化、MaaS などの新しいモビリティサービスの出現、更に昨今の社会経済情勢の変化に対応した新しい施策や制度の改訂を踏まえ、新しい技術・施策・制度の記載を充実させるとともに、編の再編も含めた構成の大幅見直しを行い、この度発刊に至ったものです。また本書は、2024 年度から交通工学研究会認定 TOP[交通技術資格者]資格試験の出題範囲を規定します。

本講習会では、書籍の各編について専門分野の講師が分りやすく解説するとともに、簡単な演習を通じて交通技術の基礎を体系的に習得していただくことを目的としています。

主催：一般社団法人 交通工学研究会

日時：2024 年 7 月 4 日（木）、7 月 5 日（金）の 2 日間

開催方法：スクリーンによる会場視聴型とオンライン参加(Zoom)のハイブリッド開催

会場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議室 先着 60 名

申込方法：当会 WEB ページよりお申し込みください

- ・申込フォームから参加者情報を送信し、受講料の納付が済むと手続き完了となります。
- ・申込期間：2024 年 5 月 27 日(月) 予定 ~ 2024 年 6 月 21 日(金)
- ・受講料納入期限：2024 年 6 月 28 日(金)
- ・手続き完了者へは、ご参加のための開催案内をメールにてご連絡いたします。

受講料：36,300 円（税込）

テキスト：発行書籍「道路交通技術必携 2024」2024 年 2 月発行

講習日程：



日	時	講習内容
7 月 4 日(木)	9:30~ 9:35	開会挨拶 深井 靖史（資格委員会 委員長）
	9:35~11:20	第1編「交通調査」 講師：丸山 佳孝（株式会社 東光コンサルタンツ）
	11:20~11:35	休憩
	11:35~13:20	第2編「交通流現象」 講師：井料 美帆（名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授）
	13:20~14:20	昼食
	14:20~15:35	第4編「交通の管理と運用」 講師：和田 健太郎（筑波大学 システム情報系 准教授）
	15:35~15:50	休憩
7 月 5 日(金)	15:50~17:35	第7編「道路の計画と管理」 講師：西内 裕晶（高知工科大学 システム工学群 教授）
	10:00~11:45	第3編「道路の設計」 講師：渡部 数樹（株式会社 オリエンタルコンサルタンツ）
	11:45~12:45	昼食
	12:45~14:00	第5編「交通渋滞対策」 講師：鳥海 梓（東京大学 生産技術研究所 助教）
	14:00~14:30	休憩
	14:30~16:15	第6編「交通安全」 講師：小嶋 文（埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授）
16:15~16:20	閉会挨拶 中村 英樹（交通工学研究会 会長）	

プログラム及び講師は変更の場合もございますので予めご了承願います。

■2024年 7月 4・5日開催 講習会テキスト「道路交通技術必携2024」

発行図書「道路交通技術必携2024」をテキストとして使用いたしますので、必ずご準備の上、ご参加ください。

- 会員の皆様へ：書籍の注文は、6/25(火)までに下記サイトより申込手続きをお願いします。
https://www.jste.or.jp/research_activities/publications/
コメント欄へ【7/4・5開催「道路交通技術必携2024」講習会 参加】と追記願います。

- 一般(非会員)の皆様へ：オンライン書店Maruzen Publishing での購入手続きをお勧めしております。各オンライン書店のご利用案内等をご確認ください。
<https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b305859.html> →



交通工学研究会認定 TOP 資格試験の出題準拠書籍

道路交通技術必携2024

交通工学研究会 発行 丸善出版 発売 ISBN978-4-905990-96-3
令和6年2月発行 A5版 346頁 本体価格3,500円+税 会員価格3,150円+税



我が国において、より安全で円滑な道路交通の実現に向けた国民の期待は、益々高まりつつあります。道路交通の実務に携わる者として、これにどう応えるべきか？ 本書には、その回答を得るための道路交通技術の核心がまとめられています。

本書は、道路交通技術の専門家集団である一般社団法人交通工学研究会が編纂したもので、実務に携わるために必要な最小限の知識を得やすいように、体系的かつ簡潔に記述するよう心掛けました。また本書は、2024年度から交通工学研究会認定TOP[交通技術資格者]資格試験の出題範囲を規定します。

本書『道路交通技術必携 2024』は、ICT・AI 技術、交通ビッグデータ、自動運転技術などをベースとした著しい技術的な発展や、それに伴う道路交通の安全・円滑に資する対策の深化、MaaS などの新しいモビリティサービスの出現、更に昨今の社会経済情勢の変化に対応した新しい施策や制度の改訂を踏まえ、新しい技術・施策・制度の記載を充実させるとともに、編の再編も含めた構成の大幅見直しを行い、この度発刊に至ったものです。

目次

第1編 交通調査	第6章 路上工事区間
第1章 概説	第7章 鉄道等との平面交差(踏切道)
第2章 道路交通関連統計調査	第5編 交通渋滞対策
第3章 交通現象調査	第1章 概説
第4章 統計の基礎	第2章 交通運用による渋滞対策
第2編 交通流現象	第3章 交通需要マネジメントとモビリティ・マネジメント
第1章 自動車・自転車・歩行者の特性	第4章 交通シミュレーションによる交通渋滞対策の評価
第2章 自動車交通流の基礎	第6編 交通安全
第3章 自動車交通流の微視的現象	第1章 概説
第4章 自転車・歩行者の交通流	第2章 交通事故の分析
第3編 道路の設計	第3章 交通事故対策
第1章 概説	第4章 対策の効果評価
第2章 道路構造の設計条件	第7編 道路の計画と管理
第3章 道路の横断構成	第1章 道路の計画, 設計から管理まで
第4章 線形	第2章 道路の計画
第5章 平面交差	第3章 交通需要予測
第6章 立体交差	第4章 道路交通容量の設計
第4編 交通の管理と運用	第5章 道路上の公共交通と道路関連施設
第1章 交通管理の考え方	第6章 道路事業の評価
第2章 交通規制	第7章 道路の管理
第3章 道路標識・路面標示	付録
第4章 交通信号	
第5章 道路交通情報	